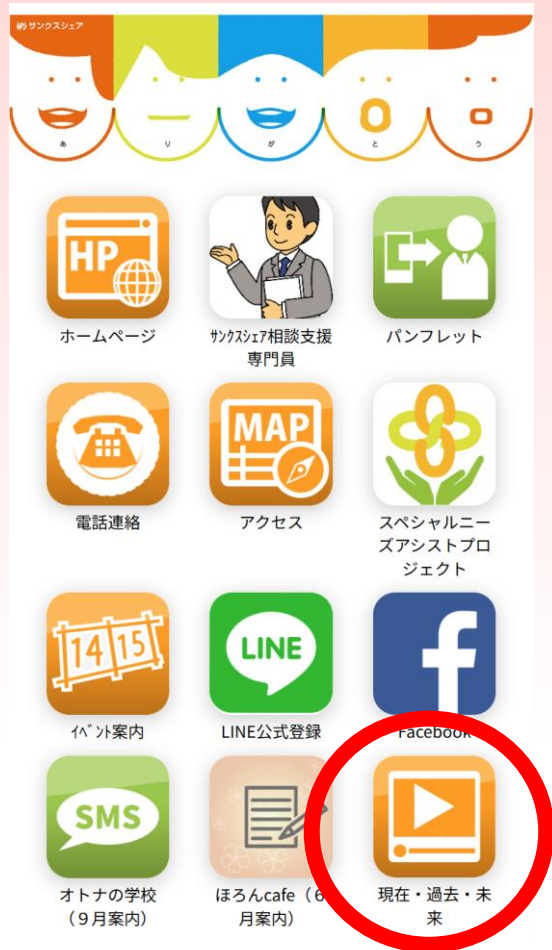


相談支援の未来への提案



R8.8.3

福岡市民間施設協議会



右のQRコードから上記のページの表示をお願いします。

相談支援事業所サクスシェア
主任相談支援専門員 田中 聡



サックスシェアの 過去



プロフィール	過去	量①	量②	量③	量④	質①	質②	質③	質④	未来
--------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

1984(昭和59)年
1996(平成8)年
1999(平成11)年
2006(平成18)年

2016(平成28)年
2016(平成28)年
2017(平成29)年
2020(令和 2)年

小学校教諭として勤務
国立鳴門教育大学大学院学校教育研究科生徒指導コース入学
(現職教員として専門知識を高める研修の機会を得る)
福岡県教育センター研修主事として現場教職員の研修事業に携わる

社会福祉法人に入職し障害福祉サービス事業に従事
経験業務 特別支援学校放課後支援事業責任者
福岡市委託相談支援コーディネーター(相談支援専門員)
障がい者グループホーム管理者・サービス管理責任者
生活介護(障がい者通所施設)サービス管理責任者

合同会社サンクスシェア創立
相談支援事業所(障がい者)福岡市指定
相談支援事業所(障がい児)福岡市指定
スペシャルニーズアシストプロジェクト(SNA)始動

- 【資格】

・小中高教諭専修免許
・障害福祉サービスサービス管理責任者(全分野) ・児童発達支援管理責任者
・主任相談支援専門員
・鳴門教育大学生徒指導学会会員
・西日本心理劇学会会員
・日本保健教育学会会員
・保育士

【実績】

2016(平成28)年
2022(令和 4)年

強度行動障がい勉強会を定期的を開催(43回)
一般社団法人障がい児成長支援協会認定研修講師

- ◆ 6 3 歳

◆ 4 人家族

◆ 北九州市戸畑生まれ

◆ パイナップル好き

◆ 納豆苦手

◆ 早起き得意

◆ 好きなところ

「ストレスほぼなし」

◆ 好きなフレーズ

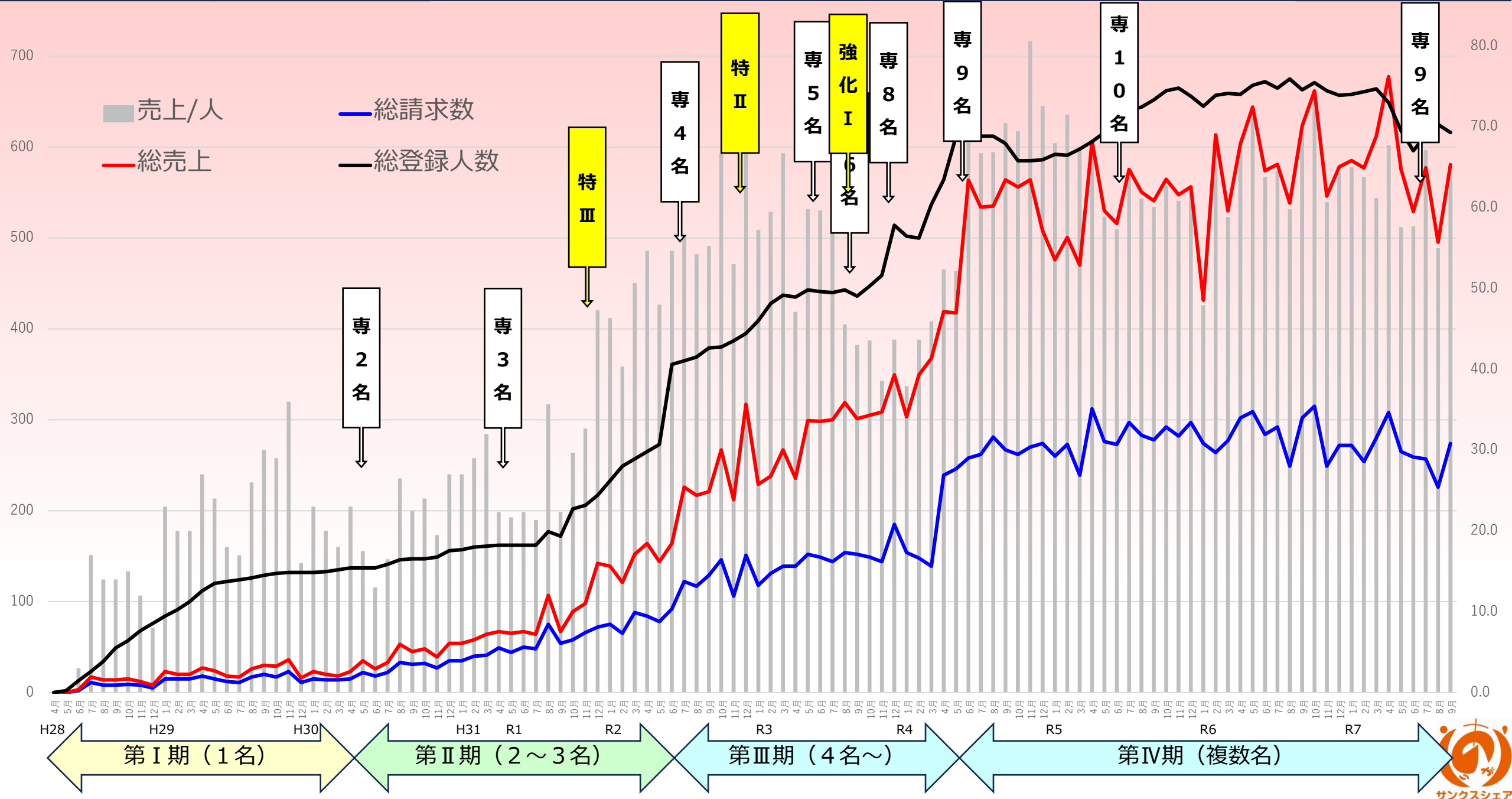
「やれない理由を探さずに、どうしたらやれるかを考える！」

「L i f e is choosing
人生は選択の連続だ」



プロフィール	過去	量①	量②	量③	量④	質①	質②	質③	質④	未来
--------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

2016(平成28)年	4月	合同会社サンクスシェア創立
2016(平成28)年	5月	指定特定相談支援事業所（障がい者）
2017(平成29)年	3月	指定特定相談支援事業所（障がい児）
2018(平成30)年	5月	相談支援専門員②
2019(平成31)年	4月	相談支援専門員③
2019(令和 1)年	10月	②③常勤職員
2019(令和 1)年	11月	特定事業所加算Ⅲ指定
2020(令和 2)年	6月	相談支援専門員（常勤）④
2020(令和 2)年	10月	一般相談福岡市指定
2020(令和 2)年	11月	特定事業所加算Ⅱ指定
2021(令和 3)年	1月	理学療法士（非常勤）
2021(令和 3)年	4月	自立生活援助事業指定
2021(令和 3)年	4月	相談支援専門員⑤
2021(令和 3)年	7月	相談支援専門員⑥⑦
2021(令和 3)年	7月	機能強化Ⅰ
2021(令和 3)年	11月	相談支援専門員⑧
2022(令和 4)年	1月	事務員
2023(令和 5)年	3月	相談支援専門員②退職
2023(令和 5)年	4月	相談支援専門員⑨
2023(令和 5)年	11月	街の相談室ほろんと協働体制開始
2025(令和 7)年	6月	ライトツリーと協働体制開



サックスシェアの 現在



【量の確保】 + 【質の確保】

相談支援事業所の基盤

【ア 量の確保】※ というより効率性

- ① 体制加算の取得
(機能強化Ⅰ 資格取得 主任相談)
- ② モニタリング期間の短縮
- ③ 業務の兼務
(地域移行・地域定着・自立生活援助)
- ④ 積極的な加算取得

【イ 質の確保】

- ① 業務の標準化
- ② 目標管理 (人事考査)
- ③ 個人面談
- ④ 現場スキル訓練

区分	配置要件	報酬単価	40件/月の差額
機能強化型 サービス利用支援費（Ⅰ）	4名 常勤＆専従 （現任研修1）	2,014単位/月 （2,201単位/月）	176,800円
機能強化型	3名 常勤＆専従	1,914単位/月	126,800円

主な体制加算	要件	報酬単価	40件/月の差額
行動障害支援体制加算	研修修了者 支援提供 （いる）	60単位 （30単位）	すべての加算計 96,000円
要医療児者支援体制加算			
精神障害者支援体制加算			
高次脳機能障害支援体制加算			
主任相談支援専門員	要件クリア （いる）	300単位 （100単位）	120,000円 （40,000円）

④ 運営規程において、**地域生活支援拠点等**であること
 られていることを定めていること

※ 将来的には解消し、お互いが新たな協働を組み、このすそ野を広げていきたい。

の要件も酒に9必要あり

モニタリング期間の短縮

モニタリング実施標準期間確認表

利用しているサービスの内容	標準期間（R2年4月～）	該項
新規サービス利用者 著しくサービスの内容等に変更があった者	1月ごと 利用開始(変更) から3月のみ	
在宅の障害福祉サービス・障がい児通所支援等		
集中的支援が必要なもの	1月ごと	
居宅介護、行動援護、同行援護、重度訪問介護、短期入所、 就労移行支援、自立訓練、就労定着支援、自立生活援助、 日中サービス支援型共同生活援助、	3月ごと	
生活介護、就労継続支援、地域移行支援、地域定着支援、 障害児通所支援、共同生活援助（日中サービス支援型を除く）	6月ごと ※65歳以上で介護保険のケアマネジメ ントを受けていない者は3月ごと	
施設入所等		
障害者支援施設、のぞみの園、療養介護入所者、 重度障害者等包括支援	6月ごと	

	標準	短縮 1	短縮 2
期間	6 か月	3か月	2 か月
報酬回数	年 2 回	年 4 回	年 6 回
40件/月 担当人数	240人	120人	80人
関係性	薄い	濃い	濃い
短縮すればするほど、関係性は濃く、計画 作成の事務量は少ないメリット			

サクスシェアが提供するその他のサービス

【自立生活援助サービス】

- ✓ 対象の人
- 一人暮らしをしている障がいのある方
 - これから一人暮らしを始めたい人
 - ちょっとした不安や困りごとがある人
- 💡 どんなサービス？
- 相談員が家まで来て話を聞いたり、困りごとを手伝ったりします
 - 必要なときは電話やLINEで相談もできます
 - 例) 薬を飲み忘れないようにチェック、お金の使い方のアドバイス、病院や役所の手続きの相談など
- 🕒 使える期間
- 基本は1年くらい
 - 困りごとがあれば長く使うことも可能です
- 💰 お金はかかる？
- 多くの人は無料か、月数千円くらいです
 - 所得によって上限が決まっています



地域移行支援



地域定着支援



【地域移行支援サービス】

- ✓ 対象の人
- 施設や病院で暮らしている障がいのある方
 - これから地域で一人暮らしやグループホームに移りたい人
- 💡 どんなサービス？
- 住まい探しのお手伝い（アパートやグループホームなど）
 - 引っ越しに必要な手続きや準備と一緒にやってくれます
 - 地域で暮らすために必要なことを、一緒に考えてくれます
- 🕒 使える期間
- 一般的に3か月から1年くらいです
 - 状況に応じて、期間は相談できます
- 💰 お金はかかる？
- 多くの人は無料か、月数千円くらいです
 - 所得に応じた月ごとの上限額があります
- 「地域で暮らしたいけど不安…」という方をしっかりサポートするサービスです！

【地域定着支援サービス】

- ✓ 対象の人
- 一人暮らしをしている障がいのある方
 - 普段は大丈夫だけど、急に困ったときに助けが必要な人
- 💡 どんなサービス？
- 24時間365日、いつでも連絡OK
 - 体調が悪い・トラブルがあったなど、急な問題に対応してくれます
 - 必要があれば、スタッフが自宅に来てサポートします
- 🕒 使える期間
- 一人暮らしを続けているあいだ、ずっと利用可能です
- 💰 お金はかかる？
- 所得に応じた月ごとの上限あり
 - 多くの人は無料～月数千円程度です
- 「ひとりだと少し不安…」という方に安心を届けるサービスです。

自立生活援助	配置要件	報酬単価
自立生活援助サービス費（Ⅰ）	30:1未満	1,566単位
集中支援加算		500単位
同行支援加算	4回以上	1,000単位
緊急時支援加算	I	711単位

地域移行（一般相談）	配置要件	報酬単価
地域移行サービス費（Ⅰ）		3,613単位
退院・退所月加算		2,700単位/日
体験利用		500単位/日
体験宿泊		700単位/日

地域移行（個別相談）	配置要件	報酬単価
地域移行サービス費（Ⅱ）		3,503単位/月
退院・退所月加算		2,700単位/日
体験利用		500単位/日
体験宿泊		700単位/日

ひとりの相談支援専門員が、
「計画相談」
「自立生活援助」
「地域移行支援」
「地域定着支援」
のすべてを兼務できる。

加算・単位		目的・内容	時期	対象	条件	限度	併給の可否
サービス提供時モニタリング加算100	訪問	利用状況	毎月	本人（事業所）		月 1	
サービス担当者会議100	会議	サービス利用	継続月	計画担当	開催 + 継続		医療・保育・教育機関等連携加算（面談）と併給不可
初回加算	その他						退院・退所と医保教は併給不可
集中支援加算①300	訪問	サービス利用	以外	本人	月 2（OL 1 可）	①②③④⑤各月 1	
集中支援加算②③300	会議	サービス利用	以外	本人・福祉等	開催/参加	①②③④⑤各月 1	
集中支援加算④300	同行	連携	以外	本人・福祉等	訪問 + 情報提供	月 3（同病院 1）	
集中支援加算⑤150	情報提供	連携	以外	福祉等	情報（文書）	①②③④⑤各月 1	
医療・保育・教育機関等連携加算①200/300	会議	連携	利用・継続月	本人・福祉以外	開催/参加 + 利用・継続	①②③各月 1	初回加算と併給不可
医療・保育・教育機関等連携加算②300	同行	連携	毎月	本人・福祉以外	訪問 + 情報提供	月 3（同病院 1）	↓
医療・保育・教育機関等連携加算③150	情報提供		利用・継続月	福祉以外	情報（文書） + 利用・継続	①②③各月 1	
居宅介護事業所等連携加算①300	訪問	者引継（介護保険・企業）	以外	本人	月 2（OL 1 可）	①②③各月 1	初回加算と併給不可
居宅介護事業所等連携加算②300	会議	者引継（介護保険・企業）	以外	本人・引継ぎ先	開催/参加	①②③各月 1	↓
居宅介護事業所等連携加算③150	情報提供	者引継（介護保険・企業）	毎月	引継ぎ先	情報（文書）	①②③各月 1	
保育・教育等移行支援加算①300	訪問	児引継（保学・企業）	以外	本人	月 2（OL 1 可）	①②③各月 1	
保育・教育等移行支援加算②300	会議	児引継（保学・企業）	以外	本人・引継ぎ先	開催/参加	①②③各月 1	
保育・教育等移行支援加算③150	情報提供	児引継（保学・企業）	毎月	引継ぎ先	情報（文書）	①②③各月 1	↓
入院時情報連携加算 I 300	訪問	入院時	毎月	病院	訪問 + 情報（文書）	I II 合計月 1	
入院時情報連携加算 II 150	情報提供	入院時	毎月	病院	情報（文書）	I II 合計月 1	
退院・退所加算300	訪問	退院退所時	利用時	病院・施設	訪問 + 情報（文書） + 計画作成	3 回	初回加算と併給不可

相談支援事業所サックスシェア 加算取得状況			R6.1月																								R8.6月						
			R6.1月	R6.2月	R6.3月	R6.4月	R6.5月	R6.6月	R6.7月	R6.8月	R6.9月	R6.10月	R6.11月	R6.12月	R7.1月	R7.2月	R7.3月	R7.4月	R7.5月	R7.6月	R7.7月	R7.8月	R7.9月	R7.10月	R7.11月	R7.12月	R8.1月	R8.2月	R8.3月	R8.4月	R8.5月	R8.6月	
総利用者			667	674	670	675	680	682	683	687	671	669	663	659	665	668	672	666	670	611	617	621	626	634	634	636	647	672	675	676	681	678	
総相談員			9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	10	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	
初回加算			300/500	5	5	3	6	4	5	2	6	3	6	2	5	2	5	2	9	11	5	8	2	3	4	7	5	4	1	3	14	5	11
入院時情報連携加算	I	300																															
	II	150																			1												
退院・退所加算			300																														
保育・教育等移行支援加算	①訪問	300																															
	②会議参加	300																															
	③情報提供	150																															
居宅介護支援事業所等連携加算	①訪問	300																															
	②会議参加	300	3																														
	③情報提供	150																															
医療・保育・教育機関等連携加算	①面談（利用時）	200				5	33	14	10	11	23	27	27	32	32	21	26	22	18	27	14	21	21	22	16	26	19	18	16	35	23	29	
	①面談（継続時）	300																															
	②通院同行	300					4	3	3	7	9	6	5	5	2	6	6	4	4	4	4	2		4	3	1	5	3	5	4	1		
	③情報提供	150					1																										
集中支援加算	①訪問	300				1							1	1		1			1						1						1		
	②会議開催	300		6	5	4	2	2	8	4	3	5	3	4	3	4	1	4	3	4	6	2	3	6	1	1	5	5	1	5	3	2	
	③会議参加	300	4	5	4	3	7	4	3	5	4	3	2	2	5	1		2	1	1	5			2	1	1		1		1	5		
	④通院同行	300						1	2	1	1	2	3		3	2	3	4	1	4	5	3	4	1	3	4	3			1		2	
	⑤情報提供	150								1																							
サービス担当者会議実施加算			100	10	2	6	7	3	2	2	2	6	4	3	2	3	6	2	2	3	3	5	1	6	3	6	1	5	5	7	7	12	12
サービス提供時モニタリング加算			100	34	29	41	44	31	12	13	8	31	39	21	9	12	19	18	21	26	40	18	21	22	6	27	22	13	16	24	25	16	18
地域生活支援拠点等相談強化加算																																	
	合計単位 万円		8.0	7.9	8.3	10.8	18.6	9.2	9.1	10.9	14.6	16.9	12.8	13.1	12.6	12.9	11.0	14.5	13.9	15.6	14.3	9.5	10.3	10.8	12.0	11.6	11.1	8.8	9.3	19.1	12.3	14.4	

		R7.4 ～ R8.3期														R8.4 ～		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			4月	5月	6月
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績			実績	実績	実績
	総担当	655	618	604	613	625	616	607	635	640	647	672	675			676	672	678
	請求件数	307	259	253	257	224	260	259	212	269	247	231	267			296	231	265
	新規依頼	21	15	21	16	10	12	18	8	12	15	11	25			15	8	6
	新規	14	12	12	5	7	4	16	5	4	7	6	14			8	5	3
A	担当	36	42	41	41	41	41	45	44	45	46	53	55			55	55	56
	請求件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			—	—	—
	自生請求	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0
	新規	1	1	1	1	2	0	2	0	1	0	0	1			0	0	0
B	担当	62	62	61	60	60	60	60	60	60	59	60	59			59	60	61
	請求件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			—	—	—
	自生請求	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0
	交代(新規)	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0			0	0	0
C	担当	119	117	125	126	126	124	123	124	123	123	127	128			126	128	127
	請求件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			—	—	—
	自生請求	1	2	2	2	2	2	2	0	2	2	2	2			1	0	2
	新規	3	4	0	1	1	0	4	0	0	1	3	2			0	1	0
D	担当	39	39	38	39	39	39	39	38	49	39	39	39			38	37	37
	請求件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			—	—	—
	自生請求	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			1	0	0
	新規	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1			1	0	1
E	担当	68	69	70	69	69	69	69	69	69	69	67	67			67	67	67
	請求件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			—	—	—
	自生請求	4	4	3	3	2	1	1	1	1	1	1	1			1	1	0
	新規	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0

		R7.4 ～ R8.3期														R8.4 ～		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			4月	5月	6月
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績			実績	実績	実績
	総担当	655	618	604	613	625	616	607	635	640	647	672	675			676	672	678
	請求件数	307	259	253	257	224	260	259	212	269	247	231	267			296	231	265
	新規依頼	21	15	21	16	10	12	18	8	12	15	11	25			15	8	6
	新規	14	12	12	5	7	4	16	5	4	7	6	14			8	5	3
F	担当	76	78	79	78	77	75	75	73	74	76	81	82			82	83	83
	請求件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			—	—	—
	自生請求	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0
	新規	1	1	1	0	1	0	4	2	0	0	1	5			1	0	0
G	担当	108	103	105	107	105	105	108	108	105	107	106	106			106	108	106
	請求件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			—	—	—
	自生請求	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	1
	新規	3	1	3	0	0	0	2	0	0	4	0	0			1	2	1
H	担当	73	76	78	78	77	80	80	82	85	87	89	89			89	91	90
	請求件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			—	—	—
	自生請求	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0
	新規	5	1	4	0	0	1	1	1	3	1	0	1			1	2	0
I	担当	0	6	9	15	22	23	24	26	26	32	39	40			41	43	43
	請求件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			—	—	—
	自生請求	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0
	新規	0	0	2	2	3	2	1	0	0	1	0	4			4	0	2

実績の見える化

相談支援事業所の基盤

【ア 量の確保】

- ① 体制加算の取得
(機能強化Ⅰ 資格取得 主任相談)
- ② モニタリング期間の短縮
- ③ 業務の兼務
(地域移行・地域定着・自立生活援助)
- ④ 積極的な加算取得・IT活用

【イ 質の確保】※ というより 最低ラインの担保

- ① 業務の標準化
- ② 目標管理 (人事考課)
- ③ 個人面談
- ④ 現場スキル訓練

そもそもISO9001（品質マネジメント）認証とは何なのでしょう？

日本品質保証協会によると、「何らかの製品やサービスに関して、世界中で同じ品質、同じレベルのものを提供できるようにしよう」を目的に、以下のような基準をクリアし認められるものです。

まえがき	
序文	0.1 一般 0.2 品質マネジメントの原則 0.3 プロセスアプローチ 0.4 他のマネジメントシステム規格との関係
1 適用範囲	
2 引用規格	
3 用語及び定義	
4 組織の状況	4.1 組織及びその状況の理解 4.2 利害関係者のニーズ及び期待の理解 4.3 品質マネジメントシステムの適用範囲の決定 4.4 品質マネジメントシステム及びそのプロセス
5 リーダーシップ	5.1 リーダーシップ及びコミットメント 5.2 方針 5.3 組織の役割、責任及び権限
6 計画	6.1 リスク及び機会への取組み 6.2 品質目標及びそれを達成するための計画策定 6.3 変更の計画

7 支援	7.1 資源 7.2 力量 7.3 認識 7.4 コミュニケーション 7.5 文書化した情報
8 運用	8.1 運用の計画及び管理 8.2 製品及びサービスに関する要求事項 8.3 製品及びサービスの設計・開発 8.4 外部から提供されるプロセス、製品及びサービスの管理 8.5 製造及びサービス提供 8.6 製品及びサービスのリリース 8.7 不適合なアウトプットの管理
9 パフォーマンス評価	9.1 監視、測定、分析及び評価 9.2 内部監査 9.3 マネジメントレビュー
10 改善	10.1 一般 10.2 不適合及び是正処置 10.3 継続的改善

付属書 A（参考）
付属書 B（参考）

新たな構造、用語及び概念の明確化
ISO/TC 176 によって作成された品質マネジメントシステム及び品質マネジメントシステム

聞くとところによると、障がい福祉でもまだ認証取得の例無らしいとのこと。

業務の標準化
=
最低ラインの明確化



	相談業務手順書
計画相談	新規・移管受付手順書
	契約手順書
	アセスメント手順書
	計画案作成手順書順書
	担当者会議記録作成手順
	受給者証取り扱い手順書
	利用計画等書類作成後 手順書
	モニタリング手順書
基本相談	基本相談手順書
業務共通手順	業務記録・相談記録手順書
	利用者個人ファイリング手順書
	利用者ファイルデータ整理手順書
	予定カレンダー入力手順書
社内研修	計画案社内検討手順書
	ケース検討会議手順書
社内共通手順	社内Q&A手順書
	月締め業務手順書
	朝礼手順書
	メール・FAX・郵便取り扱い手順書
	24時間体制手順書
	LINE活用手順書

サンクスシェアが基準とする手順書一覧

共通言語をつくる

「ありがとうを分かち合う」サックスシェアの行動目標です



サックスシェア

人は、誰かに認められることによってその存在価値が生まれます。

逆に、誰にも認められることなく生きていくことはできないでしょう。

「ありがとう」が人を育てる！

この理念を柱に、障がい福祉サービスに携わるすべての人の成長に寄与したいと思っています。

経営理念

ありがとうを
分かち合う

指標

『思いやり』『効率性』
『専門知識』『面接スキル』
『チャレンジ』

MISSION

相談支援の
業界水準を
引き上げる

強み

・支援方針の記述力
・基本相談力
・会議ファシリテーション力

R7	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録者	649	618	596	613	625	616	633	635	640	647	672	675
請求	308	265	259	257	226	274	259	234	269	247	231	267
新規	14	12	12	5	7	4	15	8	4	7	6	14

R8	R8. 4月	R8. 5月	R8. 6月	R8. 7月	R8. 8月	R8. 9月	R8.10月	R8.11月	R8.12月	R8. 1月	R8. 2月	R8. 3月
登録者	673	681	678									
請求	293	250	259									
新規	7	5	4									

カテゴリ	項目	詳細	着眼点
全社共通	効率化	計画的な業務遂行を行う	- 記録の作成について、実施後3日以内に終了させている。 - 記録や資料準備などについて、かかっている時間を計って把握し、なおかつ時間短縮が実現できている。 - 更新計画案の作成においては、1.5か月前までに回覧を終えている。 - 日程調整については、前月までに8割以上の予定調整を終えている。 - 効率化を図る工夫を言語化して他者にも伝えることができる。
	チャレンジ性	目標や新しい取り組みに対して前向きに挑戦する	- 地域のお店や病院、施設などに自らアプローチして関係をつくっている - 相談支援の中で新しい支援方法や取り組みを試している - 会社の5年計画を意識した行動や提案を行っている - 未経験の業務や役割にも前向きに挑戦している - 事務職を含め、自分の業務領域を広げる取り組みを行っている
	思いやり	相手の立場に立って相手が理解できるように伝える	- 相手へのありがとうを最優先した言動ができている。 - 相手の話をさえぎらずに最後まで聴いている。 - 思い込みをもたず、フラットな状態で受け答えしている。 - 相手の思いや願いに早く気づき、質問したり情報提供したりできている。 - 相手に伝わりやすいことを優先して話ができている。
相談員	面談の質向上	研修で学んだことを活かして、利用者様に寄り添った面談を行う	- 意図して削除を復元する質問ができている。 - 意図して歪曲を復元する質問ができている。 - 意図して一般化を復元する質問ができている。 - 互いの行動をシュミレーション（イメージング）が共有できる質問ができている。 - 相手に有用な提案（情報提供）ができている。
	思考持久力	長期にわたり徹底して考える	- 過去の記録や振り返りを参照して、一貫した考えや提案をつくることができている。 - 過去の記録や振り返りを参照して、考えや提案を柔軟に変更することができている。 - 目先のことだけでなく、長期的な目標を見据えて考えや提案ができている。 - 分からないことを放置せず、確認・検討を続けることができている。 - 困難なケースでも、課題の優先順位を明確に決め、あきらめずに取り組みを継続できている。

基本給査定イメージ

■評価ランク

評価ランク	C-	C	B	B+	A	A+
評価点	～50	51～55	56～60	61～65	66～70	71～
号俸増減	-1	0	1	2	3	4

スタッフ1号俸の人が、A査定結果だとすると
3号俸の昇給！
1号俸～4号俸へ

■給与テーブルサンプル ※ピッチ・金額はサンプルです。

一般1			
ピッチ		1,000	
下限	220,000	上限	320,000
号俸	給与	号俸	給与
1	220,000	42	261,000
2	221,000	43	262,000
3	222,000	44	263,000
4	223,000	45	264,000
5	224,000	46	265,000
6	225,000	47	266,000

頑張りが公平に評価される仕組みへ

QMS-A10

合同会社サンクスシェア R8.4.1

教育・訓練報告書

フリガナ	タナカサトル	社員番号	なし	連絡先	自宅TEL		入社日		2016年4月4日
氏名	田中 聡	性別	男		携帯TEL		退社	日	
生年月日					E-mail			理由	

【令和7年度 教育・訓練の振り返りと有効性の評価】

令和7年度は、年112件、事業所内規定研修も含め、月平均10回ほどの研修参加の実績。これに加え、放課後等デイサービス事業所を中心に、相談支援事業所などの外部研修を53件提供した。研修参加において大切にしてきたことは、毎日の相談支援の記録（主に基本相談）を含め、自らが考えたこと、気づきを必ず言語化し、それを他者へ情報提供する際の参考にしてきた。この取り組みは、地道ではあるが毎日に近いアウトプットの機会を訓練として積み重ね、自分自身の相談支援等の質の維持や向上、日々の業務における自信に大きく寄与している。必須研修については、推薦を受け7.10月に主任相談支援専門員を拝命した。基幹相談支援センターとともに区部会等に参加できるようになり、自事業所だけでなく、地域の相談支援事業所、地域の相談支援専門員、地域の社会資源等にも目を向け、相談支援の質の向上により貢献する機会を得ることができるようになった。

向こう5年間の資質向上のための計画									
目標 (目指す姿)		自事業所及びつながりのある事業所に加え、地域の相談支援事業所及び相談支援専門員の相談支援業務の質の向上に寄与するため、自らの相談支援資質の向上を踏まえ、他者に対する伝達研修や人材育成研修が提供できるスキルを身につける。 ・相談支援専門員の面接スキル、基本相談力、計画相談業務力を見る化し、相談支援専門員の評価制度を構築する。 ・相談支援初任者研修グループコーディネーターの受諾（継続）及び相談支援初任者研修実習受け入れ（新規） ・パン販売店とのコラボ事業をもとに、地域貢献活動の始動（新規） ・放課後等デイサービスのスタッフ育成研修の提供（継続）							
年度		計画（資格取得・受講研修・自己研鑽内容など）							
令和8年度	必須	・相談支援専門員現任研修更新研修 ・サービス管理責任者更新研修							
	自己研鑽	・グループコーディネーターとして、相談支援専門員初任者研修へ参加＋実習受け入れ ・放課後等デイサービス等のスタッフ育成研修の提供（7事業所） ・相談支援専門員の評価を見る化した人事制度の刷新 ・サンクスシェアができる地域貢献活動の企画（SNAプロジェクトとして、地域の社会資源開拓・人材育成活動の推進） ・福祉サービスの情報収集プラットフォーム構築プロジェクト（居宅介護サービス）							
令和9年度	必須	・主任相談支援加算Ⅰの算定							
	自己研鑽	・グループコーディネーターとして、相談支援専門員初任者研修へ参加＋実習受け入れ ・放課後等デイサービス等のスタッフ育成研修の提供（7事業所） ・自事業所の評価項目の見直し、充実。 ・サンクスシェアができる地域貢献活動の企画（SNAプロジェクトとして、職員の地域貢献活動の意識醸成） ・福祉サービスの情報収集プラットフォーム構築プロジェクト（短期入所・GH体験等）							
令和10年度	必須	・							
	自己研鑽	・コーチングスキル民間資格取得研修参加 ・グループコーディネーターとして、相談支援専門員初任者研修へ参加＋実習受け入れ ・放課後等デイサービス等のスタッフ育成研修の提供（10事業所） ・福祉サービスの情報収集プラットフォーム構築プロジェクト（短期入所・GH体験等） ・地域生活支援拠点等機能強化加算の算定							
令和11年度	必須								
	自己研鑽	・グループコーディネーターとして、相談支援専門員初任者研修へ参加＋実習受け入れ ・放課後等デイサービス等のスタッフ育成研修の提供（10事業所） ・自事業所の評価制度を確定し、新規採用ビジョンを構築。 ・サンクスシェアができる地域貢献活動の企画（SNAプロジェクトとして、地域貢献活動のコラボプロジェクトの検討①） ・福祉サービスの情報収集プラットフォーム構築プロジェクト（相談支援事業）							
令和12年度	必須	・相談支援専門員現任研修更新研修 ・サービス管理責任者更新研修							
	自己研鑽	・グループコーディネーターとして、相談支援専門員初任者研修へ参加＋実習受け入れ ・放課後等デイサービス等のスタッフ育成研修の提供（10事業所） ・サンクスシェアができる地域貢献活動の企画（SNAプロジェクトとして、地域貢献活動のコラボプロジェクトの検討②） ・福祉サービスの情報収集プラットフォーム構築プロジェクト（放課後等デイサービス・他事業）							

QMS-A10

合同会社サンクスシェア R8.4.1

教育・訓練報告書

フリガナ		社員番号	なし	連絡先	自宅TEL		入社日		2021年11月1日
氏名		性別	男		携帯TEL		退社理由	日	
生年月日					E-mail				

【令和7年度 教育・訓練の振り返りと有効性の評価】

令和3年度の10月に相談支援専門員の研修を修了し、11月に入職。必須研修は、この期間該当する研修がなかった。しかし自己研鑽研修において相談支援業務に関する研修に多く参加したことでスキルの向上に繋がりが結果、ご利用者様への訪問件数が入職後3ヶ月とその後2ヶ月を比較した場合、平均して8.5件増加した。その為、研修への参加は業務遂行能力を高める上で有効性があったと考える。

向こう5年間の資質向上のための計画									
目標 (目指す姿)		・相談支援専門員として必要な福祉関係の知識や調整能力の向上。 ・社会資源を把握し、活用できるようになる。 ・聞く(聴く)力の向上。 ・AIを活用して事務作業や調整業務の効率化を図っていく。							
年度		計画（資格取得・受講研修・自己研鑽内容など）							
令和8年度	必須	・相談支援従事者更新研修修了。							
	自己研鑽	・障がい福祉サービスではなく、障がいを持つ方を受け入れる場に参加をする(3箇所) ・東区相談支援部会に参加する(年に4回以上) ・AI活用方法を実践し、業務効率化が可能か使用感を確かめていく。							
令和9年度	必須								
	自己研鑽	・障がい福祉サービスではなく、障がいを持つ方を受け入れる場に参加をする(4箇所) ・東区相談支援部会に参加する(年に4回以上) ・AI活用方法を実践し、業務効率化が可能か使用感を確かめていく。							
令和10年度	必須								
	自己研鑽	・障がい福祉サービスではなく、障がいを持つ方を受け入れる場に役割を持って参加する(4箇所) ・東区相談支援部会に参加する(年に4回以上) ・AI活用方法を実践し、業務効率化が可能か使用感を確かめていく。							
令和11年度	必須								
	自己研鑽	・障がい福祉サービスではなく、障がいを持つ方を受け入れる場に役割を持って参加する(4箇所) ・東区相談支援部会に参加する(年に4回以上) ・AI活用方法を実践し、業務効率化が可能か使用感を確かめていく。							
令和12年度	必須	サービス管理責任者更新研修							
	自己研鑽	・障がい福祉サービスではなく、障がいを持つ方を受け入れる場に役割を持って参加する(4箇所) ・東区相談支援部会に参加する(年に4回以上) ・AI活用方法を実践し、業務効率化が可能か使用感を確かめていく。							

・ 1.5ヶ月ごと
全員面談

・ 5 か年目標

心理面接演習 プログラム

1	カウンセリング・コーチングの概要・前提	
2	カウンセリング・コーチングの際の立ち位置・姿勢	
3	傾聴と共感・課題の分離	
4	クライアントの気づきを促す会話①	会話のフィルター
5	クライアントの気づきを促す会話②	削除
6	クライアントの気づきを促す会話③	歪曲
7	クライアントの気づきを促す会話④ ヒアリングの基礎（心の構造）	一般化 性格形成 リハーサルの時代 三人称 なぜ曲がるのか、なぜ曲げるのか、
	ヒアリングの基礎（心の構造）	信念、本人の前提 自分の認識を見つめ、どう支援に活かすか おかしいこと（自分の望まない前提）になっていないか自分で確認する
8	クライアントの気づきを促す会話⑤	本当の目的
	ヒアリングの基礎（心の構造）	ステップ感情 思考・感情・行動の関係性を整理でき 支援時に仮説立てができる
	クライアントの気づきを促す会話⑥ ⑥	気づきの種まき
	総合演習	実際のケースを考える・想定した事前準備をしてからの総合演習
9	目標へのコーチング①	コーチングの基本概念を説明できる 支援場面でコーチング思考を応用できる
10	目標へのコーチング②	クライアントと具体的かつ達成可能な目標を設定できる
11	目標へのコーチング③	目標達成のためのプロセスやポイントを理解することができる
	目標へのコーチング	タイプ別の目標への進み方の違いとアプローチ
	モチベーションコントロール ネガティブ感情との向き合い方	クライアントのネガティブ感情に対して 受容・軽減するアプローチができる
12	総合演習	実際のケースを考える・想定した事前準備をしてからの総合演習



1. 関係構築（ラポール形成）
クライアントとの信頼関係を築けているか
話しやすい雰囲気づくり（カウンセリングができるベースに誘導）ができているか
相手の表情や仕草、話し方や言葉使いなどに対して点および面で観察できているか

高評価の例	改善が必要な例
相手がリラックスし、自然に話せる雰囲気をつくっている	表情が硬く、相手が緊張したまま終始している
アイコンタクトやうなずきが適切で、安心感を与えている	無表情・視線が合わず、機械的な対応に感じられる
相手の方をよく見ており、相手とよく目が合っている	情報を記入することに意識が向いており、ノートの方に視線が向きがち

2. 傾聴スキル
相手の話をさえずらず、丁寧に聴いているか
内容だけでなく感情面にも注意を向けられているか
オウム返し・要約などの技法を適切に用いているか
聴いているだけでなく、適度な質問ができているか

高評価の例	改善が必要な例
話を最後まで聴き、感情面にも寄り添えている	話をさえずぎ、話の表面だけを拾っている
共感の表現が自然に出る	共感の言葉がなく、質問ばかりが続く
質問によって話を広げたり深めたりできている	終始、笑顔で顔や相値をするばかりで、引き（聞き）出そうとしていない

3. 質問の仕方
相手の内省や気づきを促す問いができているか
タイミング・表現が自然で負担感がないか
事実を知る質問と理由（動機）を知る質問を使い分けているか



サックスシェアの未来



サクスシェアの今後の方向性

～主任相談支援専門員のひとりとして～

1. 地域との「つながり」の強化

- ・ 地域住民や他機関（福祉、医療、教育など）とのネットワークづくり
- ・ 地域ケア会議や福祉教育、町内会活動等への積極的な参加
- ・ 情報発信（広報紙、SNS、地域掲示板など）による存在感の向上

2. 「顔が見える」相談支援の実現

- ・ 定期的な地域サロンや出張相談会の開催
- ・ 事業所の開放日（見学会や体験イベントなど）を設ける
- ・ ユーザーや家族だけでなく、地域住民が気軽に立ち寄れる空間づくり

3. 専門性と安心感の提供

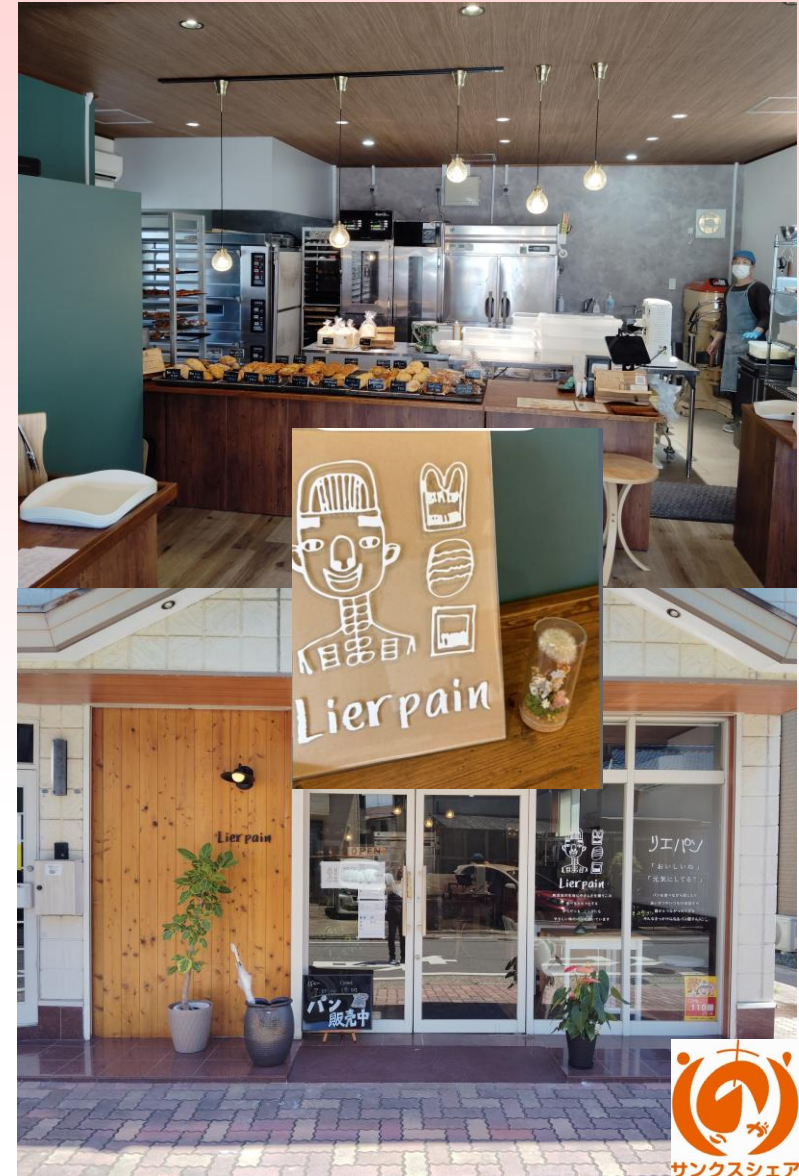
- ・ 職員の継続的なスキルアップ（研修、勉強会への参加）
- ・ 利用者に寄り添った柔軟な対応、個別支援計画の質の向上
- ・ 障害福祉に関する相談窓口としての信頼性の確立

4. 地域資源の活用・連携

- ・ 地域の福祉サービス、ボランティア団体、企業との連携
- ・ 地域課題を共に考え、解決していく場の提供
- ・ 地域共生社会の実現に向けた取り組みの推進

5. 将来的なビジョン

- ・ 誰もが地域で安心して暮らせる仕組みづくりの一翼を担う
- ・ 「相談支援＝特別なサービス」から「日常にある安心」への転換
- ・ 子どもから高齢者まで、世代を超えた支援の架け橋としての機能



なぜ、相談支援専門員を続けるのか？（＝相談支援の未来）

あるスーパービジョン研修に参加して・・・

よい相談員となるためには、自分に目を向けることが必要となる。そのことは、直接支援をする人とは一線を画していると考ええる。

専門的な支援をするサービス提供者としては、本人が、技能習得や課題解決ができることを専門的に支援する。

一方、相談支援専門員は、本人（家族）が自分自身に目を向けるサポートをしながら、将来的なエンパワメント（人としての成長）を目指すところが大きくちがう。

この違いを明確に意識し、人の成長を支え続けていきたいと考えているからこそ、

相談支援専門員を続けている・・・

⇒ 現在の自分の中での整理